



Cisco Unity 4.0(3) Service Release 1 リリースノート

Published March 11, 2004

このリリースノートには、Cisco Unity 4.0(3) Service Release 1 のインストールの手順、新規および変更されたサポートと機能、解決済みの警告事項が記載されています。

Cisco Unity 4.0(3) Service Release 1 は、Engineering Specials ES1 から ES58 を含む Cisco Unity 4.0(3) システムの累積アップデートです。このサービスリリースをインストールするには、Cisco Unity システムでバージョン 4.0(3) を実行している必要があります。

Cisco Unity ソフトウェアは、<http://www.cisco.com/cgi-bin/tablebuild.pl/unity-40> の Cisco Unity Software Download ページから入手可能です。

内容

このリリースノートの内容は次のとおりです。

- システム要件およびサポートされるハードウェアとソフトウェア (P.2)
- Cisco Unity ソフトウェアバージョンの特定 (P.2)
- Service Release 1 のダウンロード (P.3)
- Service Release 1 の Cisco Unity 4.0(3) サーバへのインストール (P.3)
- Service Release 1 の削除およびレジストリ設定の復元 (P.5)
- 新規および変更されたサポート : Service Release 1 (P.7)
- 新規および変更された機能 : Service Release 1 (P.8)
- 解決済みの警告事項 : Service Release 1 (P.11)
- Cisco Unity ドキュメンテーション (P.13)
- マニュアルの入手 (P.14)
- テクニカル サポート (P.15)
- その他の出版物や情報の入手 (P.17)

システム要件およびサポートされるハードウェアとソフトウェア

次のドキュメントには、Cisco Unity に関する最新の要件およびサポートされるハードウェアとソフトウェアが記載されています。これらのドキュメントは Cisco.com から入手可能です。

- *Cisco Unity 4.0 システム要件およびサポートされるハードウェアとソフトウェア*
- *Cisco Unity Bridge 3.0 System Requirements, and Supported Hardware and Software*
(http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/voice/c_unity/bridge30/sysreq/30bsysrq.htm から入手可能)
- *Cisco Unity Networking Options Requirements (With Microsoft Exchange)*
(http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/voice/c_unity/sysreq/netrq.htm から入手可能)

互換性マトリクス

次のマトリクスには、Cisco Unity との適合性が確認されている最新ソフトウェアバージョンの組み合わせが記載されています。これらは Cisco.com から入手可能です。

- 互換性マトリクス：Cisco Unity とユーザワークステーション上のソフトウェア
- 互換性マトリクス：Cisco Unity、Cisco Unity-CM TSP、Cisco CallManager
- 互換性マトリクス：必須および推奨のサードパーティ サービス パックとアップデート

Cisco Unity ソフトウェア バージョンの特定

この項では、使用している Cisco Unity ソフトウェアのバージョンを特定する手順を説明します。

Cisco Unity システム管理を使用して、使用している Cisco Unity のバージョンを特定する

Cisco Unity システム管理で、[システム] > [コンフィギュレーション] > [ソフトウェア バージョン] ページを選択します。インストールしたすべてのサービス リリースを含む Cisco Unity のバージョンが、[Cisco Unity ビルドナンバー] フィールドに表示されます。

AvCsMgr ファイルを使用して、使用している Cisco Unity のバージョンを特定する

- ステップ 1 *CommServer* ディレクトリを参照します。
- ステップ 2 *AvCsMgr.exe* を右クリックし、[プロパティ] をクリックします。
- ステップ 3 [プロパティ] ウィンドウで、[バージョン情報] タブをクリックします。
- ステップ 4 [項目] リストで、[製品バージョン] をクリックします。インストールしたすべてのサービス リリースを含む Cisco Unity のバージョンが、[値] ウィンドウに表示されます。

Service Release 1 のダウンロード

サービス リリースは、Cisco Unity 4.0(3) SR1 Post-Install CD にあります。このリリースは、Cisco Unity 4.0 CD Images Software Download ページから入手することもできます。

Service Release 1 をダウンロードする

-
- ステップ 1 高速インターネット接続が可能なコンピュータで、Cisco Unity 4.0 CD Images Software Download ページ (<http://www.cisco.com/cgi-bin/Software/Tablebuild/tablebuild.pl/4yutni0>) にアクセスします。
 - ステップ 2 **CiscoUnity4.0.3SR1.exe** ファイルをクリックします。
 - ステップ 3 画面の指示に従ってダウンロードを完了します。
 - ステップ 4 システムでフェールオーバーを使用している場合、セカンダリ サーバで **ステップ 1** から **ステップ 3** を繰り返します。
-

Service Release 1 の Cisco Unity 4.0(3) サーバへのインストール

この項では、Service Release 1 を、すでにバージョン 4.0(3) を実行している Cisco Unity サーバにインストールする手順について説明します。サービス リリースは多言語システムにインストールすることができますが、インストール プログラムはローカライズされていません。

新規の Cisco Unity 4.0(3) サーバのインストールや Cisco Unity 4.0(3) へのアップグレードの場合は、『Cisco Unity インストレーション ガイド Release 4.0(3)』を参照してください。Service Release 1 をインストールするタイミングは、インストールとアップグレードの手順に記載されています。

Service Release 1 を Cisco Unity 4.0(3) サーバにインストールする

-
- ステップ 1 Cisco Unity サーバ上で Cisco Unity インストール アカウント、または、ドメインもしくはローカルの管理者権限を持つアカウントを使用して Windows にログオンします。
 - ステップ 2 P.2 の「Cisco Unity ソフトウェア バージョンの特定」の手順のいずれかを実行して、サーバがバージョン 4.0(3) を実行していることを確認します。
 - ステップ 3 Cisco Unity サーバの最近のバックアップがあることを確認します。
 - ステップ 4 ウィルス検出ソフトウェアまたは Cisco Security Agent for Cisco Unity が Cisco Unity サーバにインストールされている場合は、ウィルス検出サービスおよび Cisco Security Agent サービスを無効にします。
 - ステップ 5 必要に応じて、CD-ROM ドライブに Cisco Unity 4.0(3) SR1 Post-Install ディスクを挿入します。
 - ステップ 6 Service Release 1 を Cisco Unity 4.0(3) SR1 Post-Install CD からインストールする場合は、**CiscoUnity4.0.3SR1** ディレクトリを参照します。

Service Release 1 をダウンロードした場合は、ファイルを解凍したディレクトリを参照します。

ステップ 7 **CiscoUnity4.0.3SR1.exe** をダブルクリックします。

ステップ 8 ウィザードの [Welcome] 画面で、説明を読んでから [**Next**] をクリックします。

ステップ 9 画面の指示に従って Service Release 1 をインストールします。

Cisco Unity サーバは、インストールの完了時に 2 回再起動します。これは、想定される動作です。

ステップ 10 ウィルス検出ソフトウェアまたは Cisco Security Agent for Cisco Unity が Cisco Unity サーバにインストールされている場合は、ウィルス検出サービスおよび Cisco Security Agent サービスを再度有効にします。

ステップ 11 システムでフェールオーバーを使用している場合、セカンダリ サーバで [ステップ 3](#) から [ステップ 10](#) を繰り返します。



(注) Cisco Unity 4.0(3) Service Release 1 によってレジストリ内の Cisco Unity の設定が変更されます。このため、サービス リリースのインストール後に Cisco Unity のバックアップを取ることを推奨します。

Service Release 1 の削除およびレジストリ設定の復元

この項では、Service Release 1 を、バージョン 4.0(3) を実行している Cisco Unity サーバから削除する手順、およびサービス リリースをインストールする前のレジストリ設定を復元する手順について説明します。

Service Release 1 を同じ Cisco Unity サーバにもう一度インストールする前にこの手順を完了してください。



注意

Service Release 1 は、Cisco Unity サーバに対する最新のアップデートの場合にのみ削除できます。Engineering Special 61 以降をインストールしている場合、Service Release 1 の削除はサポートされていません。

Service Release 1 を削除し、Cisco Unity 4.0(3) サーバのレジストリ設定を復元する

- ステップ 1 Cisco Unity サーバ上で Cisco Unity インストール アカウント、またはドメインもしくはローカルの管理者権限を持つアカウントを使用して Windows にログオンします。
- ステップ 2 タスクバーのステータス領域にある [*Cisco Unity*] アイコンを右クリックします。

(タスクバーに [Cisco Unity] アイコンがない場合は、*CommServer* ディレクトリを参照し、*AvCsTrayStatus.exe* をダブルクリックします。)
- ステップ 3 [*Unity 停止*] をクリックします。すべての通話が終了すると Cisco Unity が終了し、[Cisco Unity] アイコンに「X」が表示されます。
- ステップ 4 *CommServer\ServiceReleaseBackup\CiscoUnity4.0(3)SR1* ディレクトリを参照します。
- ステップ 5 *Restore.bat* ファイルをダブルクリックします。
- ステップ 6 変更を有効にするにはシステムを再起動する必要があることを示すメッセージが表示されたら、[*OK*] をクリックします。このメッセージは、*Restore.bat* 処理の間に何回か表示されることがあります。
- ステップ 7 *Restore.bat* 処理が完了したら、Cisco Unity サーバを再起動します。
- ステップ 8 Windows の [スタート] メニューで [*ファイル名を指定して実行*] をクリックします。
- ステップ 9 [*ファイル名を指定して実行*] ウィンドウで *cmd* を入力し、[*OK*] をクリックします。
- ステップ 10 [*コマンド*] ウィンドウで、次のディレクトリに移動します。
CommServer\ServiceReleaseBackup\CiscoUnity4.0(3)SR1
- ステップ 11 次のように入力します。
RegisterAndReboot.vbs C:\SRRestore.txt

ステップ 12 「The service release install has completed successfully. Click OK to restart the Cisco Unity server」というメッセージが表示されたら、[**OK**] をクリックします。

Cisco Unity サーバを再起動すると、復元された DLL ファイルが登録され、Cisco Unity をインストールしたルート ディレクトリ内の SRRestore ログ ファイルへの書き込みが行われます。

ステップ 13 Regedit を起動します。



注意

誤ったレジストリ キーを変更したり、誤った値を入力すると、サーバが誤作動します。レジストリを変更する前に、問題が発生した場合の復元方法を確認してください(レジストリ エディタのヘルプで「復元」トピックを参照してください)。Cisco Unity フェールオーバーの場合、レジストリの変更は複製されないため、一方の Cisco Unity サーバでレジストリを変更したら、他方の Cisco Unity サーバのレジストリは手動で変更する必要があります。レジストリ キー設定の変更について質問がある場合は、Cisco TAC にお問い合わせください。

ステップ 14 現在のレジストリのバックアップがない場合は、[**レジストリ**] [**レジストリ ファイルの書き出し**] をクリックし、レジストリ設定をファイルに保存します。

ステップ 15 次のレジストリ キーを展開します。
HKEY_LOCAL_MACHINE\Software\Active Voice

ステップ 16 右ペインで、SRVersion の値を削除します。

ステップ 17 **CommServer\Ciscoserv\Tomcat\Work\Standalone\Localhost\Ciscopca** ディレクトリを参照します。ディレクトリの内容をすべて削除します。

ユーザが Cisco Personal Communications Assistant およびインボックスにアクセスした時点で、ディレクトリ内のファイルとサブディレクトリが正しく再現されることに注意してください。

ステップ 18 **CommServer\ServiceReleaseBackup** ディレクトリを参照します。ServiceReleaseBackup ディレクトリ全体を削除します。

ステップ 19 システムでフェールオーバーを使用しており、Service Release 1 をセカンダリ サーバにインストールした場合は、セカンダリ サーバで **ステップ 1** から **ステップ 18** の手順を繰り返します。

新規および変更されたサポート：Service Release 1

この項では、Cisco Unity 4.0(3) Service Release 1 限定の新規および変更されたサポートについて説明します。以前のバージョンの Cisco Unity の新規および変更されたサポートについては、該当するバージョンのリリース ノートを参照してください。Cisco Unity のすべてのバージョンに対応するリリース ノートは、http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps2237/prod_release_notes_list.html から入手可能です。

最新のサポート情報が記載された Cisco Unity ドキュメントの URL については、P.2 の「システム要件およびサポートされるハードウェアとソフトウェア」を参照してください。

Cisco Unity Tools Depot

表 1 に、Service Release 1 に含まれる機能拡張の実装に必要な、または推奨される Tools Depot の新規および更新されたツールを示します。

最新のバージョンのツールは、Cisco Unity Tools Web サイト (http://www.answermonkey.net/App_pdl_builder_40.htm) からダウンロードします。

表 1 Cisco Unity ツールの変更点

更新されたツール	新規ツール
<ul style="list-style-type: none"> • Advanced Settings Tool • DBWalker • Gather Unity System Info • PDL Builder 	<p>なし</p> <p>ツールの使用方法については、ツールのヘルプを参照してください。</p>
<p>ツールの変更点については、ツールのヘルプの改訂履歴を参照してください。</p>	

新規および変更された機能 : Service Release 1

この項では、Cisco Unity 4.0(3) Service Release 1 限定の新規および変更された機能について説明します。以前のバージョンの Cisco Unity の新規および変更された機能については、該当するバージョンのリリース ノートを参照してください。Cisco Unity のすべてのバージョンに対応するリリース ノートは、http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps2237/prod_release_notes_list.html から入手可能です。

Cisco Unity (Domino 版): UMR 通話はデフォルトでは無効

Unity Message Repository (UMR) は、Cisco Unity を外部ネットワークの不安定性の問題から回避するための機能です。UMR の機能は、次の主要部分で構成されています。

- UnityMTA : 外部の発信者がユーザにメッセージを残す場合、メッセージは Cisco Unity サーバの UnityMTA ディレクトリに一時的に保管されます。ネットワークの問題によって Cisco Unity が Domino にメッセージを渡せない場合、メッセージは送信されるまで Cisco Unity サーバのハード ディスクに保持されます。Domino が使用できない場合にも、発信者はメッセージを残せます。
- UMR 通話 : ユーザが Cisco Unity にログオンしたときにメール ファイルが使用できない場合、ユーザは UMR 通話の限定的な機能によって UnityMTA フォルダに残されたメッセージを聞くことができます。

Domino サーバをクラスタ内に設定することによっても、ネットワークの不安定性に対応できます。Domino クラスタリングの目的は UMR 通話と同様に、メッセージの可用性を増大させることです。Domino がクラスタ化された環境では、ユーザがメール ファイルにアクセスできないことはほとんどないので、UMR 通話は必要ありません。

以前のバージョンでは、Cisco Unity は Notes API、NSPingServer() を呼び出すことによって、メッセージ受信者の Domino メッセージ送信サーバおよびメールサーバがオンラインであるかどうかを判断していました。CSCec15693 および CSCed40506 で説明されているように、NSPingServer() 機能は Domino クラスタ内では信頼性が低いことが証明されています。Domino メールサーバの ping は、次の 2 箇所が発生します。

- Cisco Unity が UnityMTA ディレクトリに保存されていたメッセージを Domino に渡す前。
- ユーザが Cisco Unity にログオンした後、Cisco Unity がユーザのメール ファイルにログオンを試みる前。

NSPingServer() 機能は、Domino クラスタ内でメール ファイルが利用できるかどうかを判断するには信頼性の低い方法であるため、次の問題が確認されています。

- Domino がメッセージを送信できる場合であっても、Cisco Unity がメッセージを UnityMTA ディレクトリに保持する。
- クラスタ内の別の Domino サーバでメール ファイルが利用できる場合であっても、ユーザに限定的な UMR 通話が提供される。

Domino クラスタはメッセージに高度な可用性を付加するため、Cisco Unity がメール ファイルの利用の可否を判断する別の方法ではなく、Cisco Unity が上記の場合に NSPingServer() を呼び出してメールサーバを ping するかどうかを制御するレジストリ設定が追加されました。デフォルトでは ping は実行されません。この変更により、UMR 通話はユーザに提供されなくなります。ユーザがログオンした後 Cisco Unity がユーザのメール ファイルにアクセスできない場合は、フェールセーフ プロンプトが再生され、Cisco Unity は切断されます。(「ただいま電話に対応することができません。しばらくたってから、もう一度お試しください。」)

外部からの発信者のメッセージは Cisco Unity サーバの UnityMTA ディレクトリに保管され、メッセージを Domino に渡す試みが失敗した場合、Cisco Unity はメッセージを UnityMTA ディレクトリに保管し、定期的に渡す試みを繰り返すことに注意してください。

クラスタリングを行わずに Domino を実行している場合、UMR 通話を有効にできます。Cisco Unity が Domino メール サーバがオンラインであるかどうかを確認する方法は、Domino サーバがクラスタ化されていない場合に正常に動作します。Tools Depot の Advanced Settings Tool を使用して UMR 通話を有効にします。詳細については、Advanced Settings Tool のヘルプを参照してください。この設定は、Conversation— (Unity Domino only) Enable UMR Conversation といいます。

Cisco Unity (Exchange 版) : 大きな同報リスト宛メッセージのメッセージ ウェイティング インジケータの遅延

すべてのユーザリストなどの大きな同報リスト宛のメッセージによって、多数のユーザが同時に電話でメッセージを聞く場合、すべてのポートがビジー状態になることがあります。メッセージが指定された同報リストに送信された場合、Public Distribution List Builder ツールの 2 つの新しい設定によって、設定可能なシステム全体の遅延 (スロットリング) がユーザのメッセージ ウェイティング インジケータに追加されます。

スロットリングされたメッセージ ウェイティング インジケータ (MWI) の要求は、それぞれ指定した秒数の間遅延されます。メッセージの総通知時間は、スロットリング要求の数に遅延時間の間隔を乗じた値とほぼ同じになります。

大きな同報リスト宛のメッセージに MWI の遅延を設定する

-
- ステップ 1 最新のバージョンの Public Distribution List Builder は、Cisco Unity Tools Web サイト (http://www.answermonkey.net/App_pdl_builder_40.htm) からダウンロードします。
 - ステップ 2 Cisco Unity サーバの Tools Depot で Public Distribution List Builder を開きます ([Cisco Unity Tools Depot] アイコンは、Cisco Unity サーバのデスクトップ上にあります)。
 - ステップ 3 [**Configure Distribution List MWI Notification Parameters**] をクリックし、[**Next**] をクリックします。
 - ステップ 4 画面の指示に従います。詳細については、ツールのヘルプを参照してください。
 - ステップ 5 変更を有効にするため、Cisco Unity サーバを再起動します。
 - ステップ 6 システムでフェールオーバーを使用している場合、セカンダリ サーバで **ステップ 1** から **ステップ 5** を繰り返します。
-

Cisco Unity (Exchange 版) : ユーザの電話によるメッセージの確認時にすべての受信確認を除外

Advanced Settings Tool を使用して、Cisco Unity 通話を変更し、ユーザが電話でメッセージを確認するときに Cisco Unity でユーザに再生するメッセージのリストから Non Delivery Receipts (NDR; 不達確認) と受信確認を除外することができます。ユーザのメールボックス (多くの場合ユニファイドメッセージ設定) に大きな添付ファイル (100 MB 以上) の受信確認がある場合、次の問題のいずれか、または両方が発生する可能性があるため、変更を検討します。

- Cisco Unity のポートが通話に応答できない。
- ユーザがログオン時に電話パスワードを入力した後何も聞こえない。

レジストリの変更は、標準カンパセーションとオプションカンパセーション 1 のどちらを使用してあるかにかかわらず、Cisco Unity サーバに関連付けられたすべてのユーザに対してシステム全体で適用されます。

この機能の設定の詳細については、Advanced Settings Tool のヘルプを参照してください。この設定は、Conversation—Exclude All Receipts From Voice Mail Stack といいいます。

Cisco Unity (Exchange 版) : Cisco Unity Inbox から受信確認を除外

Advanced Settings Tool を使用してレジストリを変更し、Cisco Unity で Cisco Unity Inbox から受信確認を除外できます。この変更は、Cisco Unity サーバに関連付けられたすべてのユーザに対してシステム全体で適用されます。

この機能の設定の詳細については、Advanced Settings Tool のヘルプを参照してください。この設定は、Unity Inbox—Exclude Return Receipts from the Inbox といいいます。

ユーザ通話のカスタマイズ : メッセージの再生時に要約を除外

Advanced Settings Tool を使用して Cisco Unity 通話を変更し、ユーザがボイス メッセージを再生するときにメッセージ本体だけを再生するようにできます (デフォルトでは、Cisco Unity はメッセージの要約と本体の両方を再生します)。

このカスタマイズは Cisco Unity のボイス メッセージの再生方法のみに影響します。変更は Cisco Unity サーバに関連付けられたすべてのユーザに対してシステム全体で適用され、標準カンパセーションとオプションカンパセーション 1 の両方に影響します。

この機能の設定の詳細については、Advanced Settings Tool のヘルプを参照してください。この設定は、Conversations—Do Not Replay Message Summary といいいます。

解決済みの警告事項 : Service Release 1

表 2 に Cisco Unity 4.0(3) Service Release 1 限定の解決済みの警告事項を示します。

Cisco.com のアカウントを持っている場合は、Bug Toolkit を使用して、すべてのリリースについての重大度の警告だけでなく、表 2 の警告の詳細も検索できます。Bug Toolkit は、http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/launch_bugtool.pl から入手可能です。

以前のバージョンの Cisco Unity に関する警告情報については、該当するリリース ノートを参照してください。Cisco Unity のすべてのバージョンに対応するリリース ノートは、http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps2237/prod_release_notes_list.html から入手可能です。

表 2 Cisco Unity 4.0(3) Service Release 1 の解決済みの警告

警告番号	重大度	コンポーネント	説明
CSCdz12105	1	failover	NodeMgr サービスが突然停止し、DrWatson ログが生成される。
CSCec12075	1	domdirconnector	DOM : Unity_Messaging アカウントが unitydb の削除から保護されない。
CSCdz22524	2	lotus	DOM : TUI (電話ユーザインターフェイス) 経由でファックスまたは電子メールを転送すると、フェールセーフが再生される。
CSCdz39077	2	sa	パブリック同報リストを Exchange 5.5 から Unity にインポートできない。
CSCea82525	2	dommessaging	DOM : 保存されている電子メールに返信する、または保存されている電子メールを転送すると、フェールセーフ通話が再生される。
CSCeb20635	2	dommessaging	DOM : メールファイルの [Owner] フィールドが誤っている場合、MWI および通知が機能しない。
CSCeb60898	2	dommessaging	DOM : 通知での遅延が発生する。
CSCeb86696	2	dommessaging	DOM : DUCS によって複数の通知が 1 つの TCP/IP パケットに組み込まれる。
CSCeb87053	2	perfmonitor	AvIntegrationPerf の起動時に Unity サービスが停止する。
CSCec21149	2	dommessaging	DOM : DUCS 通知データが複数の TCP パケットに分割される。
CSCec32012	2	conversations	ロードテスト時に Unity プライベートバイトの使用が急上昇を示す。
CSCec36982	2	conversations	グリーティングがメッセージを受信しない場合にも完全なメールボックスチェックが発生する。
CSCec37157	2	dommessaging	DOM : Domino サーバがオフラインになった場合、メールボックス ログイン障害が発生する可能性がある。
CSCec37670	2	pca	[読み取り] および [配信] に対する返信確認が CPCA (Cisco Personal Communications Assistant) を使用して表示される。
CSCec49651	2	miu	SIP : RecordBeep による Unity ポートのロック時に切断する。
CSCec53351	2	statusmonitor	StatusMonitor が SSL 有効時に作動しない。
CSCec57629	2	pca	CPCA : Unity Assistant でメッセージ再生ページにメモリリークが表示される。
CSCec63779	2	exmessaging	4.0.3 へのアップグレード後に MWI が中断する。
CSCec67050	2	domdirconnector	DOM : 夜間行われる MWI の再同期化後、ユーザにフェールセーフが再生される。
CSCec78333	2	csbridgeconnector	Bridge VCard UID を 4294967295 以上にできない。
CSCec85905	2	miu	ENX : メッセージを残すとアプリケーション ログにフェールセーフ、MIU エラーが記録される。
CSCed28247	2	sa	SA - IP アドレスによる SA (システム管理) へのアクセス時にユーザ表示を表示できないことがある。

表 2 Cisco Unity 4.0(3) Service Release 1 の解決済みの警告 (続き)

警告番号	重大度	コンポーネント	説明
CSCed41432	2	core	CM で変更通知が大量にある場合、MWI リクエストで AvCsMgr がクラッシュする。
CSCed46283	2	exmessaging	Exchange 2003 上の Outlook 2003 ユーザがボイスメールを見つけられない。
CSCed51091	2	umr	Exchange への接続が不安定な場合、UMR がメッセージを送信できない。
CSCed64823	2	sa	SA : [インポートする Exchange ユーザの選択] ダイアログを表示できない。
CSCdz13475	3	sa	新規ユーザの作成に失敗する。テンプレート コールハンドラが見つからないというエラーが発生する。
CSCdz14902	3	conversations	ログインしたユーザから TUI 経由で送信されたメッセージに件名がない。
CSCeb07397	3	exdirconnector	DL (同報リスト) にスラッシュが含まれていると、GC 同期化が E_ADS_BAD_PATHNAME で失敗する。
CSCeb54025	3	sa	ユーザのインポートで正しい表示名が Active Directory からインポートされない。
CSCeb78207	3	core	Logmgr : メモリの限界に達すると一番古いログが最初に削除される。
CSCeb87047	3	conversations	メッセージへの返信の確認時に長いポーズがある。
CSCec12836	3	sa	IP による SA ユーザの参照時に検索リンクが FQDN (Fully Qualified Domain Name; 完全修飾ドメイン名) に設定される。
CSCec15693	3	dommessaging	DOM : Unity が誤って Domino サーバがオフラインであると判断する。
CSCec21560	3	miu	SIP : Unity で re-INVITE 要求が正しく処理されない。
CSCec25057	3	core	一部の Arbiter ダイアグが正しくフォーマットされない。
CSCec26821	3	dommessaging	DOM : 通知デバイスを無効にしてもプロフィール マスクがアップデートされない。
CSCec28152	3	integration	フェールオーバー Unity サーバが Ericsson のハートビートに応答する。
CSCec28582	3	conversations	一部の通話ダイアグが正しくフォーマットされない。
CSCec32324	3	domdirconnector	DOM : ディレクトリ モニタが 15 秒ごとに同期する。
CSCec39114	3	import	「 CUBI - 表示名が Active Directory 表示名ではなく、名前と苗字から作成される 」
CSCec39141	3	sa	SA : 名前または苗字を変更することによって表示名が変更される。
CSCec45219	3	reports	ユーザのメッセージ アクティビティ レポートで MWI 要求が除外される。
CSCec47227	3	sa	完了時に Unity SA ページにロード中が表示される。
CSCec49036	3	exmessaging	RPC err #14 の受信後 MAPI 通知が失敗する。
CSCec49342	3	database	Synker がディレクトリに代行内線番号を書き込まない。
CSCec53192	3	conversations	同報リストが所有するコール ハンドラによってフェールセーフが行われる。
CSCec54060	3	sa	SA : クライアントのブラウザからユーザを追加できない、追加ページにロードできない
CSCec74329	3	domdirconnector	DOM : ユーザが UCEnabled であるかどうかを判断するためのロジックが拡張される。
CSCec78493	3	dommessaging	DOM : TUI 経由でメッセージを送信しようとする、フェールセーフ通話が再生される。
CSCec78568	3	csbridgeconnector	CsBridgeConnector 診断で、原因となる vcard 属性がログに記録されない。
CSCec81421	3	csbridgeconnector	1 つの CID に対して複数の参照を持つ VCard によってエラーが生成される。
CSCed02330	3	miu	PIMG : 発信ガード タイマーが必要とされる。

表 2 Cisco Unity 4.0(3) Service Release 1 の解決済みの警告 (続き)

警告番号	重大度	コンポーネント	説明
CSCed03115	3	ua	UA での変更時に、チェックボックスのユーザが次のログイン時にパスワードを変更しなければならないことが消去されない。
CSCed10874	3	exdirconnector	AvDsGc - 削除された MailboxStore の同期アルゴリズムが競合状態にある。
CSCed30076	3	conversations	Conv - IAvNamedProps : SetPropBool によって誤った障害がログに記録される。
CSCed30444	3	dommessaging	DOMINO : テキスト メッセージの通知に失敗する。
CSCed36346	3	sa	SA - 擬似コードが SA であることに問題がある。
CSCed44096	3	sa	SA : 100 を超える PDL (パブリック同報リスト) の場合 DH に対する PDL 検索オプションを選択できない。
CSCed47464	3	database	重複するエイリアスがある場合、SQL Syncher が完全な同期化を完了できない。
CSCed49945	3	conversations	転送ストリングの変数が使用できない。
CSCed51227	3	umr	UMR が DC/GC 停止から回復しない (単一の DC/GC 環境)
CSCed55009	3	conversations	Conv - 大きな添付ファイルのある NDR が Unity を停止することがある (Cisco Unity (Exchange 版) のみ)
CSCed65655	3	exmessaging	Unity がパートナー サーバ HrGetServerDN を動的に取得できない。
CSCed68789	3	sa	SA マイクロトレースが誤ってフォーマットされる。
CSCed75508	3	sa	SA : 100 を超える DL の DL インポート検索で、選択したドメインが記憶されない。
CSCdz70936	6	exmessaging	ExMon - インターフェイス方式のメールボックス名に対する診断が必要とされる。
CSCed20064	6	core	Unity で、すべてのユーザ PDL に対するメッセージ送信を交互に行える必要がある。
CSCed31426	6	conversations	メッセージの要約を再生しない。

Cisco Unity ドキュメンテーション

Cisco.com 上の Cisco Unity に関するドキュメントの説明および URL については、『*About Cisco Unity Documentation*』を参照してください。このドキュメントは Cisco Unity に同梱されており、Cisco.com (http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/voice/c_unity/about/aboutdoc.htm) でも利用可能です。

マニュアルの入手

シスコのマニュアルおよびその他の資料は、Cisco.com でご利用いただけます。テクニカル サポートを受けたり、技術リソースを入手したりするには、いくつか方法があります。ここでは、シスコシステムズから技術情報を入手する方法を紹介します。

Cisco.com

マニュアルの最新版は、WWW の次の URL で参照できます。

<http://www.cisco.com/univercd/home/home.htm>

シスコの Web サイトは、次の URL で参照できます。

<http://www.cisco.com>

各国の Cisco Web サイトには、次の URL からアクセスできます。

http://www.cisco.com/public/countries_languages.shtml

マニュアルの発注方法

マニュアルの発注方法については、次の URL を参照してください。

http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/es_inpck/pdi.htm

シスコのマニュアルは、次の方法でご発注いただけます。

- Cisco.com 登録ユーザ（シスコの直接顧客）は、Ordering ツールからシスコ製品のマニュアルを発注できます。
<http://www.cisco.com/en/US/partner/ordering/index.shtml>
- Cisco.com に登録されていない場合、製品を購入された代理店へお問い合わせください。

テクニカル サポート

シスコと正式なサービス契約を交わしているすべてのお客様、パートナー、および代理店は、Cisco Technical Assistance Center (TAC) の 24 時間テクニカル サポートを、オンラインと電話で利用することができます。Cisco.com は、オンラインのテクニカル サポートの最初の窓口として、Cisco TAC Web サイトを運営しています。シスコと正式なサービス契約を交わしていない場合は、代理店にお問い合わせください。

Cisco TAC Web サイト

Cisco TAC Web サイトは、オンラインのマニュアルやツールを提供することで、シスコ製品とその技術に関連するトラブルシューティングを容易にします。Cisco TAC Web サイトは、年間を通して 1 日 24 時間利用できます。Cisco TAC Web サイトには、次の URL からアクセスできます。

<http://www.cisco.com/tac>

Cisco TAC Web サイトのすべてのツールへのアクセスには、Cisco.com へのユーザ ID とパスワードが必要です。ログイン ID およびパスワードを取得されていない場合は、次の URL で登録手続きを行ってください。

<http://tools.cisco.com/RPF/register/register.do>

Japan TAC Web サイト

Japan TAC Web サイトでは、利用頻度の高い TAC Web サイト (<http://www.cisco.com/tac>) のドキュメントを日本語で提供しています。Japan TAC Web サイトには、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/jp/go/tac>

サポート契約を結んでいない方は、「ゲスト」としてご登録いただくだけで、Japan TAC Web サイトのドキュメントにアクセスできます。Japan TAC Web サイトにアクセスするには、Cisco.com のログイン ID とパスワードが必要です。ログイン ID とパスワードを取得していない場合は、次の URL にアクセスして登録手続きを行ってください。

<http://www.cisco.com/jp/register>

TAC の検索

オンラインの TAC Case Open Tool を使用すると、P3 と P4 の事例を短時間で検索できます (P3 と P4 の事例とは、ご使用のネットワークの障害が最小限である、または製品情報を必要としていることです)。ユーザが状況を入力すると、TAC Case Open Tool がその状況をすぐに解決するために、必要なリソースを自動的に推奨します。これらの推奨リソースで解決できない場合は、Cisco TAC のエンジニアが対応します。オンラインの TAC Case Open Tool には、次の URL からアクセスできます。

<http://www.cisco.com/tac/caseopen>

P1 または P2 レベルの問題が発生した場合 (ネットワークがダウンした、または機能が著しく低下した)、またはインターネットでアクセスできない場合は、Cisco TAC に電話でお問い合わせください。P1 および P2 レベルの問題が発生した場合、Cisco TAC のエンジニアがすぐにアサインされ、業務を円滑に継続できるようサポートします。

電話で事例を検索する場合は、次のいずれかの番号を使用します。

アジア太平洋地域：+61 2 8446 7411（オーストラリア：1 800 805 227）

欧州アフリカ地域：+32 2 704 55 55

米国：1 800 553-2447

Cisco TAC の連絡先一覧は、次の URL を参照してください。

<http://www.cisco.com/warp/public/687/Directory/DirTAC.shtml>

TAC 優先レベルの定義

すべての事例が標準形式で報告されるように、事例の優先レベルを定義しています。

優先レベル 1 (P1): ネットワークがダウンし、業務に致命的な影響がある。シスコとお客様の双方が、必要なリソースをすべて投入し、24 時間体制で状況を解決します。

優先レベル 2 (P2): 既存のネットワークのパフォーマンスが著しく低下したため、またはシスコ製品の不備により、業務に悪影響がある。シスコとお客様の双方がフルタイムでリソースを投入し、通常業務時間に状況を解決します。

優先レベル 3 (P3): ネットワークのパフォーマンスが十分に機能していないが、ほとんどの業務運用を継続できる。シスコとお客様の双方のリソースを投入して、通常業務時間に満足いただけるレベルまでサービスを回復します。

優先レベル 4 (P4): シスコ製品の機能、インストレーション、基本的なコンフィギュレーションについて、情報または支援が必要である。業務にほとんど影響しない、またはまったく影響しない。

その他の出版物や情報の入手

シスコ製品、テクノロジー、およびネットワーク ソリューションに関する情報は、各種オンラインソースおよび印刷ソースから入手できます。

- Cisco Marketplace では、シスコの書籍やリファレンス ガイド、ロゴ製品を数多く提供しています。購入を希望される場合は、次の URL にアクセスしてください。
<http://www.cisco.com/go/marketplace/>
- *Cisco Product Catalog* では、シスコシステムズが提供するネットワーク製品と、その注文方法およびカスタマー サポート サービスについて説明しています。Cisco Product Catalog には、次の URL からアクセスしてください。
<http://cisco.com/univercd/cc/td/doc/pcat/>
- *Cisco Press* は、ネットワーク全般、トレーニング、および認定資格に関する書籍を広範囲にわたって出版しています。これらの出版物は、初心者ユーザにも熟練したユーザにも役立ちます。最新の Cisco Press のタイトルとその他の情報については、Cisco Press online の次の URL を参照してください。
<http://www.ciscopress.com>
- *Packet* は、シスコが 3 ヶ月に 1 回発行している雑誌です。最新のネットワーク動向、技術的な進展、シスコ製品、およびソリューションを提供することで、業界のプロフェッショナルがネットワーク事業への投資を最大限に活かすための一助となります。ネットワークの配置、トラブルシューティングのヒント、コンフィギュレーション例、お客様のケース スタディ、トレーニング、認証情報、および多数のオンライン リソースをカバーしています。Packet には、次の URL からアクセスできます。
<http://www.cisco.com/packet>
- *iQ Magazine* は、シスコが 2 ヶ月に 1 回発行している出版物で、インターネット ビジネス戦略に関する最新情報を企業の経営者に提供しています。iQ Magazine には、次の URL からアクセスできます。
<http://www.cisco.com/go/iqmagazine>
- *Internet Protocol Journal* は、シスコシステムズが 3 ヶ月ごとに発行している雑誌で、プライベート インターネットおよびパブリック インターネット、プライベート イントラネットおよびパブリック イントラネットの設計、開発、および運用に携わるプロフェッショナルを対象としています。Internet Protocol Journal には、次の URL からアクセスできます。
<http://www.cisco.com/ipj>
- トレーニング：シスコは、ワールドクラスのネットワーク トレーニングを提供しています。ネットワーク トレーニングの最新内容は、次の URL にリストされています。
<http://www.cisco.com/en/US/learning/index.html>

CCIP、CCSP、Cisco Arrow のロゴ、Cisco Powered Network のマーク、Cisco Unity、Follow Me Browsing、FormShare、および StackWise は、Cisco Systems, Inc. の商標です。Changing the Way We Work, Live, Play, and Learn、および iQuick Study は、Cisco Systems, Inc. のサービス マークです。Aironet、ASIST、BPX、Catalyst、CCDA、CCDP、CCIE、CCNA、CCNP、Cisco、Cisco Certified Internetwork Expert のロゴ、Cisco IOS、Cisco IOS のロゴ、Cisco Press、Cisco Systems、Cisco Systems Capital、Cisco Systems のロゴ、Empowering the Internet Generation、Enterprise/Solver、EtherChannel、EtherSwitch、Fast Step、GigaStack、Internet Quotient、IOS、IP/TV、iQ Expertise、iQ のロゴ、iQ Net Readiness Scorecard、LightStream、MGX、MICA のロゴ、Networkers のロゴ、Networking Academy、Network Registrar、Packet、PIX、Post-Routing、Pre-Routing、RateMUX、Registrar、ScriptShare、SlideCast、SMARTnet、StrataView Plus、Stratm、SwitchProbe、TeleRouter、The Fastest Way to Increase Your Internet Quotient、TransPath、および VCO は、米国および一部の国における Cisco Systems, Inc. または関連会社の登録商標です。

このマニュアルまたは Web サイトで言及されているその他の商標はすべて、それぞれの所有者のもので、「パートナー」という語の使用は、シスコと他社の提携関係を意味するものではありません。(0401R)

Copyright © 2004 Cisco Systems, Inc.
All rights reserved.

お問い合わせは、購入された各代理店へご連絡ください。

シスコシステムズでは以下の URL で最新の日本語マニュアルを公開しております。
本書とあわせてご利用ください。

Cisco Connection Online Japan
<http://www.cisco.com/japanese/manuals/>

日本語マニュアルの購入を希望される方は、以下の URL からお申し込みいただけます。

シスコシステムズマニュアルセンター
<http://www2.hipri.com/cisco/>

上記の両サイトで、日本語マニュアルの記述内容に関するご意見もお受けいたしますので、
どうぞご利用ください。

なお、技術内容に関するご質問は、製品を購入された各代理店へお問い合わせください。



シスコシステムズ株式会社

URL:<http://www.cisco.com/jp/>

問合せ URL:<http://www.cisco.com/jp/service/contactcenter/>

〒107-0052 東京都港区赤坂 2-14-27 国際新赤坂ビル東館

TEL.03-5549-6500 FAX.03-5549-6501